

キャッチフレーズ1 ～支え合いのまちづくり～

① 地域共生社会の推進

市の施策の方向性



- 全世代がともに支え合う地域共生社会の実現を目指し、幅広い年齢層の住民の社会参加、活動団体相互の交流を促すことで、地域で活動する人を増やすとともに、地域のネットワークづくりや地域課題の解決に向けた取組を部局を超えた連携により支援します。
- 複合的な困りごとを抱える人や生きづらさを感じている人の早期発見に努め、様々な福祉課題に対して、包括的な相談・支援が行える分野横断的な体制を構築するとともに、本人の希望と地域資源のマッチングを行うことで、社会参加につなげます。
- 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」が切れ目なく、一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現に向けて取組を進めます。
- 外国人住民に対するコミュニケーションや生活に関する支援を行うとともに、イベントや啓発等を通じて、お互いの文化や慣習などを理解し、尊重し合える多文化共生の地域づくりを進めます。

みんなで取り組むこと



- 隣近所との関係やつながりを大切にし、顔見知りの関係が築けるように地域の人が集う場や地域福祉活動に積極的に顔を出すようにします。
- 周囲の人の心身の不調や生活の変化にも気を配るとともに、地域の中でひとり暮らし高齢者などが孤立しないよう、日常的な見守り、声かけに取り組めます。
- 悩んだ時は一人で抱え込まず身近な人や相談機関、民生委員児童委員等に相談します。
- イベントや活動への参加を通じて、異なる生活習慣や文化、価値観の理解に努め、交流を深めます。

あなたへのメッセージ

地域の問題を「我が事」として捉え、みんなで助け合える関係をつくりましょう！

まちづくり



② 人権が尊重される社会の推進

市の施策の方向性

- 一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる、多様性が受容されるダイバーシティ社会を実現するため、人権の教育や相談体制を充実させ、人権意識の高揚と人権擁護の推進を図ります。
- 男女がともに生きる喜びと責任を分かち合える男女共同参画社会の構築を目指します。
- 高齢者や障害者、子どもや女性など、社会的に弱い立場にある方に対する虐待・差別等の人権侵害を許さない環境づくりと、これらの根絶に向けた啓発を推進します。また、関係機関と連携し、被害にあった方の権利擁護と心身の安全確保を図るための各種支援を行います。

みんなで取り組むこと

- 各種の人権啓発事業や人権への関心を高める取組等に参加し、人権を尊重することの重要性を認識し、正しい行動をとれるようにします。
- 家庭、職場、地域、学校等、日々の様々な場面で、性別に関わりなく個性と能力が十分に発揮できる環境をつくります。
- 虐待・差別等の人権侵害にあった場合や、見たり聞いたりした場合は、速やかに相談窓口や専門機関に相談または連絡するようにします。

あなたへのメッセージ

みんなちがって、みんないい。互いの個性や生き方を認め合い、心豊かな生活を送りましょう！

③ 地域での健康づくり

市の施策の方向性

- 地域ごとの健康課題を把握し、地域との間で課題が共有されるように努めます。
- まちづくり協議会と連携し、地域の特色ある健康づくりを支援します。
- 様々な世代を対象に健康づくりや健康増進の輪を拡げ、行政と地域のパイプ役として活躍する健康推進員の育成や活動環境の充実に努めます。

みんなで取り組むこと

- 地域のことをみんなで考え、地域が主体となって健康事業に取り組めます。
- 地域で開催される健康づくり教室や離乳食レストラン等の健康イベントに積極的に参加します。
- 各まちづくり協議会の健幸宣言実現に向けて、みんなで健康意識や生活習慣の改善に取り組めます。

あなたへのメッセージ

ち・い・き・か・ら！

<各まちづくり協議会の健幸宣言>

「ち」…ちいきのみんなが健康への理解を深め、健康と幸せの輪を広げます！

「い」…いつまでも健やかで幸せな生活が送れるよう生活習慣の改善に努めます！

「き」…きっちり健康管理をおこない健康診断の大切さを訴えていきます！

「か」…カロリー等、バランスのとれた食生活を心がけます！

「ら」…らくらく体を動かして、地域の運動習慣を広めていきます！



キャッチフレーズ2 ～行動変容につながるまちづくり～

① コンパクト・プラス・ネットワーク

市の施策の方向性

- 生活利便性の高い住みよいまちづくりを目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方に基つき、公共交通網で結ばれたコンパクトな都市構造を構築し、徒歩や公共交通による移動を増やします。
- コミュニティバス(まめバス、まめタク)などの新たな移動手段の確保を進め、不便地の解消に取り組むとともに、自転車の利用環境を整備し、自動車に頼らない暮らしの実現に取り組みます。
- 歩きたくなるまちづくりを推進するため、草津駅周辺等の重点整備地区の歩道のバリアフリー化に取り組みます。

みんなで取り組むこと

- できるだけ公共交通機関を利用するようにします。
- 環境や健康のため、自動車の代わりに自転車による移動を検討します。
- 近所に出かける時は、歩いていくことを心がけます。



あなたへのメッセージ

自転車に乗って「風」を感じましょう！歩いて「まち」を感じましょう！

② 産学公民連携

市の施策の方向性

- 誰もがいつでも気軽に訪れ、健康づくりを行うことのできる健康拠点の整備やその活用について、民間と連携して取り組みます。
- 企業や大学と連携しながら健康分野に関する調査研究・社会実験を行い、疾病予防・介護予防等に役立てます。
- 健康分野へのICT(情報通信技術)の更なる活用を図り、IoT(あらゆるモノをインターネットに接続し、情報のやりとりをすること)やAI(人工知能)等の先端技術を取り入れるなど、デジタル技術と組み合わせた健康づくりに取り組みます。



みんなで取り組むこと

- 市が開催する健幸づくりイベント等に参加します。
- 交流・学習や調査・研究等への参加等を通じて、それぞれの立場から健幸づくりの推進に取り組みます。
- スマートフォン等の身近な情報端末を利用して、健康に関するリテラシーを高めます。

あなたへのメッセージ

まずは「BIWA-TEKU」(滋賀県の健康増進アプリ)をダウンロードしてみませんか？

まちづくり



③ 情報発信

市の施策の方向性

- 市民の健康に対する意識を高め、行動変容を促すため、多様な媒体を活用した広報活動を展開するなど、「健幸都市づくり」に関する情報発信を強化します。
- 健幸都市とコンパクトシティ、ゼロカーボンシティは、それぞれ草津市が目指している「まち」や「ひと」の姿と共通の側面があるという認識の下で、必要な情報発信を行います。

みんなで取り組むこと

- 健幸に関する情報に積極的に触れるよう心掛け、その重要性を認識するとともに、自分ができる範囲でそこに時間やお金を投資することが、生活習慣病や介護などの将来リスクを予防し、いつまでも自分らしく暮らせることにつながることを意識して行動します。
- 健幸につながる情報があれば積極的に共有・発信します。

あなたへのメッセージ

人生100年時代。健幸への投資※で健康寿命を延ばしましょう！

※健幸への投資…各々が「健幸」の重要性を意識し、自分や家族の「健幸」のためにできる範囲で時間やお金を投資すること。

